

滑石製形代(人形、馬形、舟形)

沖ノ島で発見された多くの奉獻品の中には、滑石を削って作られた小さな品もありました。その柔らかさと耐久性により、滑石(別名・石鹼石や凍石としても知られる)は何千年もの間、理想的な彫刻の材料でした。8世紀から9世紀まで遡ることが出来るこれらの品は、舟や馬や人を象っています。島内の開けた場所や仮設の石の祭壇の周辺などで発見されており、宗像の信仰ならではのものです。これらは沖ノ島で行われた儀式の終盤における主要な奉獻品でした。